

生のえび、かに（非加熱の乾燥品を含む）測定用推奨プロトコール — 抽出操作 —

1. 試料を氷冷しながら、粉砕機（フードカッターなど）で粉砕し、均質混和して調製検体とする。
2. 均質化した調製検体1 g をポリプロピレン製遠沈管（50 mL 容）に量り採り、調製した〔検体抽出液〕 19 mLを加え、よく振り混ぜて混合し、固形分を均等に分散させる。この際、あまり泡立たせないよう注意しながら、ボルテックス等を用いて検体を分散させる。
3. 検体を分散後、速やかに沸騰浴中で30分間加熱する。加熱処理は遠沈管中の溶液が十分に浸るようにして行う。
4. 遠沈管を室温に戻し、3,000×g（室温）の条件で20分間遠心し、遠心後に得られる上清を分取する。沈査が得られない場合や浮遊物がある場合は上清を濾紙で濾過し、これを抽出検体液とする。
5. 以降の測定操作は各キットの添付文書に従って行う。